





(C-8) カードを使って数の和の大小を考える①


ねらい カードを使って、正負の数の加法を考え、その和の大きさを考えることができる。


◆ カードゲームをします。ゲームのルールは、二人で対戦し、山札から2枚のカードを引き、その2枚のカードの合計点で競います。2数の和が大きい方が勝ちです。さて、Aさん、Bさんどちらが勝ったのでしょうか？

カードの   は正の数を表します。カードの   は負の数を表します。

$\begin{aligned} & (-3) + (-7) \\ \text{POINT} & = -3 - 7 \\ & \text{と表すことができます。} \end{aligned}$	$\begin{aligned} & (-4) + (+6) + (+8) + (-9) \\ & = -4 + 6 + 8 - 9 \\ & \text{と表すことができます。} \end{aligned}$
--	---


A






$$\begin{aligned} & +3 - 9 \\ & = -6 \end{aligned}$$

B







$$\begin{aligned} & -8 - 4 \\ & = -12 \end{aligned}$$


絶対値を比べると、 $6 < 12$
 だから負の数の大きさを比べると、絶対値が大きいほど数は小さくなるので、
 $-6 > -12$ (答) Aの勝ち


【問題】 Aさん、Bさんのどちらが勝ったのでしょうか。

① A B












$$+8 > -2$$


(答) A の勝ち

② A B












$$-2 < -1$$


(答) B の勝ち

③ A B












$$0 > -6$$

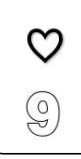
(答) A の勝ち

④ A B









$$-5 > -6$$

(答) A の勝ち